



# 東京都立北豊島工業高等学校 定時制課程 グランドデザイン

## 北豊島工業高校（定時制課程）の状況

### 【教育目標】

- ①人権尊重の理念を正しく理解し、責任と協力を重んじる人をつくる。
- ②自主・自立の精神に富んだ人をつくる。
- ③心身ともに健全な人をつくる。
- ④社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする人をつくる。

### 【生徒・学校の現状】

- ①4年次卒業生における進路決定率が毎年高い割合で実現しており、進路意識の醸成が徹底している。
- ②問題行動を起こす生徒が少なく、安定した学校生活を送ることができる。
- ③生徒数が少なく、個々の実態に応じたきめ細やかな指導ができる。
- ④社会人としての基本的なルールやマナーを身につけている生徒が少ない。
- ⑤学習への意欲が低く、小学校・中学校における基礎的な学力の定着率が低い生徒が多く在籍している。
- ⑥高校入学以前に学校への不適応を経験した生徒や外国籍の生徒など多様な課題を抱えた生徒が多く在籍している。
- ⑦努力を継続させる意欲が乏しく、身に付けた知識や技術を十分に活用することができない。

### 【学校像・学校経営計画】

- 大正9年に殖産興業を図る目的で創立され、その後地域に根差した工業高校として支えられてきた99年の歴史を持つ伝統ある工業高校である。校訓に「自治」を掲げ、「自らの人生を自ら治める」ことができる人材育成を目指す。そのために「実力主義、努力主義、反省主義」の3つを上げている。自他ともに認める実力をつけ、そのための努力を惜しまず、次のステップに進むための反省を行い、それを生かしていきける生徒の育成を目指す。また、工業高校である本校は職業人を育てることを目的としており、社会で通用する規範意識や基礎学力を身に付けさせることを目標にする。
- (1)自他共に大切に、人権尊重の精神に基づいて教育活動を推進し、いじめや体罰のない学校
  - (2)職業人として基本的な姿勢である規範意識を養いそれを実践できる生徒を育成する学校
  - (3)社会で役立つ学力の基礎をしっかりと定着できる学校
  - (4)職業人として任された仕事を、責任をもって遂行できる気力と体力を養うことができる学校
  - (5)保護者や地域から信頼され、ともに一体となって生徒のための教育が推進できる学校

## 予想される社会の変化

- ①ICT機器やIoT、SNSなどの普及・発達により、仕事のあり方やコミュニケーション方法に変化が生じる。
- ③持続可能な社会の実現に向けた、新たな環境資源の開発や工業・産業技術の開発が必要となる。

- ②グローバル化や人工知能(AI)の発達により、職種や労働環境、働き方に大きな変化が見込まれる。
- ④情報社会(Society4.0)から超スマート社会(Society5.0)への社会構造の変化に対応する必要がある。

### 【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿）】

- ①社会的、経済的に自立し、自らの人生を自ら治めることができる人間。
- ②学んだ知識と技術・技能を活用し、地域社会に貢献することができる人間。

### 【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】

1. 社会人として必要な基礎的な知識や技能の獲得（①基礎学力の定着、②専門的な知識・技能の獲得）⇒知識・理解
2. 主体的に卒業後のキャリアを構築する能力（③進路実現力、④コミュニケーション力）⇒思考力・判断力・表現力等
3. 基本的な学習・生活習慣の確立と規範意識の醸成（⑤物事に取り組む意欲、⑥規範意識）⇒学びに向かう力・人間性等

### 【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
到達度のめやす	支援を受けながら、目標達成に向けて努力できる。	支援を受けながら、目標が達成できる。	自らの力で、目標達成に向けた行動ができる。	目標の達成に向けて、自ら課題を発見し、解決することができる。
知識・技能	①基礎学力 教員の支援を受けながら、義務教育課程修了程度の基礎的な知識を習得するための努力ができる。	高校の基礎的な知識を習得することに向けて、教員の支援を受けながら、学習を継続して行うことができる。	自ら積極的に学習に取り組み、高校の基礎的な知識や技能を習得することができる。	自らの進路や最新の情報、社会情勢等を踏まえ、課題を設定し、今まで得た知識や技能を活用して、解決に向けた取り組みができる。
	②専門的な知識・技能 教員の支援を受け、安全に配慮しながら、専門的な知識・技能を獲得するための努力ができる。	教員の支援を受けながら、専門的な知識・技能を獲得し、与えられた課題に取り組むことができる。資格・検定の取得に向けて努力することができる。	設定された課題に対して、獲得した知識や技能を活用し、解決に向けて積極的に取り組むことができる。資格・検定の取得に必要な行動を自ら実践できる。	自ら課題を設定し、獲得した知識や技能を適切に活用して、さらなる探究活動を行うことができる。進路実現に向けた資格・検定の取得を自ら積極的に実践する。
思考力・判断力・表現力等	③進路実現力 教員の支援や保護者との話し合いを通して、卒業後の進路に対する意識をもち、就職や進学に向けた行動を始めようとする努力ができる。	教員の支援を受け、自らの希望や適性等を踏まえながら、進路について考えることができる。就職・進学を意識した取り組みをすることができる。	各種検査等から自らの適性を理解し、就職・進学に関する情報を踏まえて、進路実現に向けた具体的な取り組みを積極的に行うことができる。	進路実現に向けて、適切な行動と努力を継続的に行い、最後まで目標の達成に向けて、取り組むことができる。卒業後を意識した行動をとり、周囲の模範となることができる。
	④コミュニケーション力 第三者の支援のもと、コミュニケーションの重要性を認識し、他者の話を傾聴するなど、必要最低限の人間関係を構築するための努力ができる。	指導や助言を受け、人権意識をもち、他者への配慮を踏まえながら人間関係を構築できる。他者を受容しようとする努力ができる。	他者の長所や特性の理解に努め、適切な人間関係を構築することができる。人権意識が確立され、互いに協力し合っ物事に取り組むことができる。	他者の受容、人権意識において周囲の模範となり、安定した人間関係を築くことができる。グループの中心となり、的確な役割分担のもと物事を推進できる。
学びに向かう力・人間性等	⑤物事に取り組む意欲 教員の支援を受け、自らの考えや意志をまとめ、意欲的な活動を行おうとする努力ができる。	教員の支援を受けながら、目標の達成に向けた正しい行動を積極的にとることができる。	目標達成に向けた道筋を設定し、それに向けた努力を自らの意思で継続して行うことができる。	自らの特性や課題、現状を理解し、目標の達成に向けた適切な取り組みができる。自らの行動で、周囲の意欲に良い影響を与えることができる。
	⑥規範意識 教員の指導のもと、道徳、倫理、法律等、社会のルールやマナーについて知り、守ろうとする努力ができる。	教員の指導を受け、道徳、倫理、法律等、社会のルールやマナーを理解し、行動することができる。	道徳、倫理、法律等、社会のルールやマナーを守る重要性を理解し、自ら実行できる。	自らが、率先して道徳、倫理、法律等、社会のルールやマナーを守り、周囲の模範となることができる。

目指すべき  
生徒の将来像

- ①社会的、経済的に自立し、自らの人生を自ら治めることができる人間。
- ②学んだ知識と技術・技能を活用し、地域社会に貢献することができる人間。